

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		もやいのえんがわ		公表日		令和7年4月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		児童の活動状況によってスペースの使い方や部屋を使い分けている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		十分な配置ができるように考慮している。	常に配置基準に必要な人員はいるものの、職員の体調不良や児童の状況によっては配置数に若干不安を抱える状況も見られる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		安全に配慮し空間を作っている。また、職員間でより安全な空間となるようにリスク管理についてミーティングを実施している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清潔にし、心地良く過ごせる環境を提供できるようにしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		状況に応じて個別に部屋や場所を使用できるように環境を整えている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		児童発達管理責任者を中心に児童に対する振り返りや目標設定についてミーティングを行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		頂いた評価を参考に業務改善に繋げている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日のミーティングや会話中、その他、職員研修などで上がってくる課題に対して業務改善に繋げている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		利用者様のご意見を取り入れ、事業所内で協議し、業務改善に繋げている。	第三者の評価も取り入れ、より業務改善できるようにしていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修プログラムを組んで毎月のリスクマネジメント実施や法人内で研修に参加できる機会を確保している。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成、令和7年3月に公表した。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		ニーズや課題を分析し、支援計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に担当者会議を行い、子どもの最善の利益を考慮した上で個別支援計画を作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画に基づき支援を実施している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントツールを参考に事業所のアセスメントシートを作成し、使用している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童や家族の状況を考慮し、支援計画を決定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間でプログラム案を出し合い、活動プログラムを決定している。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	複数のプログラム案を出し、様々なことを経験できるようにプログラムを計画している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	児童の状況に合わせて支援計画を作成し、支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	ミーティングを実施し、その日の支援内容及び役割分担について確認を行い支援を実施する。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	振り返りを実施し、情報を共有する。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	経過記録を作成している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	定期的なモニタリングを実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	4つの基本活動を組み合わせ支援を実施している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	活動内容により自己選択ができる物の設定や自己決定をする力が育つよう支援を実施している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	児童発達支援管理責任者に加え、児童の状況をよく理解した職員が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	協力医療機関と連携して支援を行える体制となっている。また、その他の関係機関とも必要に応じて連携を行う。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	必要に応じて学校との情報共有を実施している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	児童の状況に応じて情報共有を依頼することがある。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		対象者なし
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	児童の状況に応じて助言を受ける機会がある。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	マルシェで地域のこどもと交流する機会がある。	今後、交流を増やしていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		日程的に参加可能な協議会等は参加できるように調整する。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	保護者様と直接お話しできる際は児童の課題を共有出来ていると考える。	保護者様とあまりお会いできず、課題について共通理解できていない場合がある。連絡帳含め、電話や文書、面談を上手活用し共通認識が高まるように工夫していく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		研修会等の情報共有を積極的に行っていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	面談時に改めてご説明する場合や、各内容についてご不明点がないか確認している。	説明不十分になっている保護者様へは疑問点が解消できるように説明していく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	利用児童と個別面談やお話しをした後に保護者様とも面談し、意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	児童発達支援管理責任者から支援内容を説明し、支援計画の同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者様から子育ての悩み等に対する相談等があれば、職員間で共有・協議し、適切な助言や支援ができるよう努めている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		今年度は保護者様の療法参加やバーベキューのイベントで交流できる機会を設けた。	今年の交流機会が年1回だった為、参加できない利用者様や保護者様がいたことが想定されるため、年に数回できるように計画していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		必要に応じて管理者、責任者が対応するように組織で動いている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		会報誌等はないが、ブログを更新し保護者が閲覧できるようにしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		書類や発言とともに個人情報に留意し対応している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		直接お話しすることや連絡帳を導入している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		マルシェなどを開催し、地域住民を招待。児童も合流し活動している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		定期的にマニュアルを確認、見直しを実施。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを作成し、非常災害発生に備え、定期的な訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約前に保護者様へ確認し、定期的に身体状況を確認するようにしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーのある児童がいる際には必要に応じて管理栄養士とも相談して食事には気をつけるようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、計画に沿って研修、訓練及び安全管理を実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画の取り組み内容について保護者様へ周知している。	定期的に安全計画に基づく取り組みについて保護者様へ報告していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		毎月のリスクマネジメントカンファレンスや必要に応じヒヤリハット記録表に書き止め、職員間で情報共有し、事故防止、再発防止について検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		外部研修を受講するとともに、職員研修のプログラムに組み込んでいる。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		必要な場合は利用者様と保護者様へ十分の説明し、支援計画に記載した上で実施する。		